

項目名称	No. 14	中期財政計画の検証と予算編成への活用										
分類	大	1	健全な行財政運営の確保に向けた取組									
	中	1	効率的で効果的な行政経営									
	小	5	健全で持続可能な財政運営									
所管課	企画財政部 財政課											
現状と課題	<p>平成30年度(2018年度)から令和6年度(2024年度)までを対象とする中期財政計画については、「将来を見据えた、持続可能な財政運営」を目指し、「市債残高200億円以上の圧縮」、「財政調整基金90億円以上の確保」という2つの財政目標を掲げて取り組んでいる。</p> <p>しかし、令和元年度(2019年度)末以降においては、新型コロナウイルス感染症の影響や、エネルギー・資機材等の価格高騰及び労務単価の改定による増等の影響により、財政調整基金取崩額を増やさざるをえないなど、財政状況は非常に厳しいものになっている。</p> <p>今後のローリングにあたっては、社会情勢や本市の財政状況等を適切に反映した上で財政健全化対策を図り、予算編成へ活用していく必要がある。</p>											
取組内容	中期財政計画の検証、見直し(ローリングの実施)											
達成目標	中期財政計画の検証と予算編成への活用											
効果	持続可能な財政運営の実施											
指標			現状		中間年度		最終年度					
			目標値									
実施スケジュール			平成30年度 (2018年度)		令和元年度 (2019年度)		令和2年度 (2020年度)		令和3年度 (2021年度)		令和4年度 (2022年度)	
1	計画の検証・見直し	計画	→									
2		計画										
3		計画										
4		計画										
5		計画										
備考												

各年度取組実績				
令和 4年度 (2022)	中間取組状況	見直し(ローリングの実施)を行い、ホームページに公表した。 また予算編成関係資料として活用している。		
	最終取組状況	見直し(ローリングの実施)を行い、ホームページに公表した。 また予算編成関係資料として活用した。		
	達成状況評価	○	評価理由 及び次年度 の取組 予定	計画最終年度の目標に向かって、計画は順調に進んでいる。 次年度は、今年度の試算時点の財政収支に、本市の財政や施策に関する要素に加え、本市の取り巻く環境に関する要素を反映させて、計画の見直しを行う。
	△:準備、検討 ○:一部実施 ◎:実施完了 -:中止			
	効果額 (千円)	不用額		内容・ 算出 内訳
必要額				
効果額				
[効果額] = 不要額(取組により不要となった(生み出された)額) - 必要額(取組に要した額)				

項目名称	No. 15	基金の有効活用									
分類	大	1	健全な行財政運営の確保に向けた取組								
	中	1	効率的で効果的な行政経営								
	小	5	健全で持続可能な財政運営								
所管課	企画財政部 財政課										
現状と課題	基金については、財政課と会計課で、基金運用額、運用期間等の調整を図り、予算編成において財源調整機能の役割を持たせているが、令和元年度(2019年度)以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、不足する財源を補うため、財政調整基金の取崩額が増えるなど、財政状況は非常に厳しいものになっている。今後、人口減少や新型コロナウイルス感染症による税収の減や少子高齢化による社会保障費の増が見込まれる中で、持続可能な財政運営を維持していくため、また、不測の事態への備えとして一定額を確保する必要がある。										
取組内容	財政調整基金の一定額の確保										
達成目標	令和4年度末(2022年度末)において、財政調整基金を90億円以上確保する										
効果	<ul style="list-style-type: none"> 安定した健全財政の確立 基金運用益を活用した地域振興及び予算編成 										
指標					現状	中間年度	最終年度				
財政調整基金残高					目標値	146億円	68億円以上		90億円以上		
実施スケジュール			平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)				
1	基金の確保		計画								
2			計画								
3			計画								
4			計画								
5			計画								
備考											

各年度取組実績				
令和 4年度 (2022)	中間取組状況	基金の運用については、会計課で一括運用を行っているが、財政調整基金の運用については財政課と会計課で協議を行い、中長期的な視点により運用計画を検討している。		
	最終取組状況	基金の運用については、会計課で一括運用を行っているが、財政調整基金の運用については財政課と会計課で協議を行い、中長期的な視点により運用計画を検討した。		
	達成状況評価	○	評価理由及び次年度の取組予定	達成目標：財政調整基金残高90億円以上の確保 令和4年度(2022年度)財政調整基金残高：14,703,104千円(回答日時点)
	△：準備、検討 ○：一部実施 ◎：実施完了 ー：中止			
	効果額 (千円)	不用額		内容・算出内訳
必要額				
効果額				
[効果額] = 不要額(取組により不要となった(生み出された)額) - 必要額(取組に要した額)				

項目名称	No. 16	市債の適正管理										
分類	大	1	健全な行財政運営の確保に向けた取組									
	中	1	効率的で効果的な行政経営									
	小	5	健全で持続可能な財政運営									
所管課	企画財政部 財政課											
現状と課題	<p>平成27年度(2015年度)普通会計決算で見ると、人口一人当たりの市債残高は45中核市の中で、11番目に高い残高となっている。また、公債費負担比率・実質公債費比率も中核市平均値を上回っている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により不足する財源を補うために、臨時財政対策債が大幅に増加する等、財政状況は非常に厳しいものになっている。</p> <p>将来世代に負担を先送りしないため、市債残高の圧縮に取り組む必要がある。</p>											
取組内容	<p>1 市債発行額を元金償還額の範囲内に抑える「元金ベースのプライマリーバランス*の黒字化」への取組</p> <p>2 最適な資金調達方法の研究(上半期に研究し、調達時に成果を活用)</p> <p>3 財政健全化比率等の財政状況の公表</p> <p>4 より有利な市債メニューの活用</p>											
達成目標	中期財政計画に基づき、令和4年度(2022年度)までに100億円以上の市債残高を圧縮する(平成29年度(2017年度)予算比)											
効果	公債費が抑制される											
指標					現状		中間年度		最終年度			
中期財政計画に基づき、令和4年度(2022年度)までに100億円以上の市債残高圧縮(平成29年度(2017年度)予算比)					目標値		1,854億円以下		1,775億円以下		1,754億円以下	
実施スケジュール			平成30年度(2018年度)		令和元年度(2019年度)		令和2年度(2020年度)		令和3年度(2021年度)		令和4年度(2022年度)	
1 市債残高を圧縮する予算の編成		計画	→		→		→		→		→	
2 最適な資金調達方法の研究		計画	→		→		→		→		→	
3 財政健全化比率等の財政状況の公表		計画	→		→		→		→		→	
4 より有利な市債メニューの活用		計画	→		→		→		→		→	
5		計画										
備考		*元金ベースのプライマリーバランス 市債発行額を除いた歳入と公債費(元金のみ)を除いた歳入の収支。										

各年度取組実績					
令和 4年度 (2022)	中間取組状況	1 元金ベースのプライマリーバランスの黒字化に取り組んだ。 2 借入先や利率見直しについて最適な資金調達方法で行った。 3 財政健全化比率等の財政状況の公表を行った。 4 より有利な市債メニューの活用を図った。			
	最終取組状況	1 元金ベースのプライマリーバランスの黒字化に取り組んだ。 2 借入先や利率見直しについて最適な資金調達方法で行った。 3 財政健全化比率等の財政状況の公表を行った。 4 より有利な市債メニューの活用を図った。			
	達成状況評価	◎	評価理由及び次年度の取組予定	元金ベースのプライマリーバランスの黒字化を堅持するとともに、有利な借入や市債メニューの活用を図った。	
	△:準備、検討 ○:一部実施 ◎:実施完了 -:中止				
	効果額(千円)	不用額		内容・算出内訳	
	必要額				
	効果額				
[効果額] = 不要額(取組により不要となった(生み出された)額) - 必要額(取組に要した額)					

項目名称	No. 17	公園墓地特別会計の健全化								
分類	大	1	健全な行財政運営の確保に向けた取組							
	中	1	効率的で効果的な行政経営							
	小	5	健全で持続可能な財政運営							
所管課	環境部 環境政策課									
現状と課題	<p>昨今の少子高齢化及び世相等を反映し、一般墓地の新規使用申込は減少傾向にある一方、納骨堂や合葬墓の申込件数は増加傾向にある。</p> <p>2025年問題を抱え、市民のニーズに沿った墓地政策を行うことにより、墓地の貸出区画数を増加させ、使用料及び管理料の収入確保に努め、公園墓地特別会計の健全化を図る必要がある。</p>									
取組内容	<p>1 宮崎南部墓地公園納骨堂内空きスペースへの世帯式納骨壇の増設(154区画)</p> <p>2 宮崎南部墓地公園合葬墓埋蔵棚の増設(骨壺約350個分)</p> <p>3 桃山墓地の管理料徴収開始へ向けた準備(墓地内整備・合葬墓建設等)</p> <p>4 無縁墳墓の使用者特定および改葬処理</p> <p>5 宮崎みたま園の合葬墓建設に向けた検討(宮崎南部墓地公園合葬墓と同規模)</p>									
達成目標	市民ニーズに沿った墓地の新規貸出しおよび管理料の徴収を行うことにより、公園墓地特別会計の安定した歳入確保を行う。									
効果	墓地使用料及び管理料収入の増加により公園墓地特別会計の健全化が図られ、安定した墓地経営・管理運営を行うことができる。									
指標			現状		中間年度		最終年度			
公園墓地特別会計運営における管理料収入の増			目標値	4,289万円	4,513万円	4,644万円				
実施スケジュール			平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)			
1	宮崎南部墓地公園世帯式納骨壇の増設	計画								
2	宮崎南部墓地公園合葬墓埋蔵棚の増設	計画								
3	桃山墓地の管理料徴収開始へ向けた準備等	計画								
4	無縁墳墓の使用者特定および改葬処理	計画								
5	宮崎みたま園合葬墓の建設検討	計画								
備考										

各年度取組実績				
令和 4年度 (2022)	中間取組状況	桃山墓地において昨年度3月に合葬墓(200体収容)が完成し、今年度は桃山墓地整備事業を進めた。		
	最終取組状況	今年度、桃山墓地の整備が完了した。また、使用者に対して令和4年10月、令和5年3月に広報紙を送付し、桃山墓地整備状況を報告するとともに、将来管理料徴収が発生することについての理解を求めた。		
	達成状況評価	○	評価理由及び次年度の取組予定	条例改正議案を議会に提出し、桃山墓地の合葬墓及び使用料及び管理料徴収を進める予定で、宮崎市墓地基本計画により進捗管理する。
	△:準備、検討 ○:一部実施 ◎:実施完了 -:中止			
	効果額 (千円)	不用額	20,370(20年)	内容・ 算出 内訳
必要額		6,479	○必要額 合葬墓製作費 6,479,000円	
	効果額	13,891(20年)		○効果額 不要額-必要額=13,891,000円(20年)
[効果額]=不要額(取組により不要となった(生み出された)額)-必要額(取組に要した額)				

項目名称	No. 18	宮崎市病院事業経営計画の推進							
分類	大	1	健全な行財政運営の確保に向けた取組						
	中	1	効率的で効果的な行政経営						
	小	5	健全で持続可能な財政運営						
所管課	健康管理部 保健医療課								
現状と課題	宮崎市立田野病院*1と併設の宮崎市介護老人保健施設さざんか苑*2を管理経営する田野病院事業においては、平成27年度(2015年度)に指定管理者制度を導入した。その後、平成29年(2017年)3月に策定した第3次宮崎市病院事業経営計画(対象期間:平成28年度(2016年度)～令和2年度(2020年度))に沿った運営を行っているが、医師や看護師等の人材確保面では改善が図られてきているものの、経営面では非常に厳しい状況が続いており、収支改善が喫緊の課題となっている。現計画の対象期間が令和2年度(2020年度)で終了することから、次期計画を策定する必要がある。								
取組内容	1 第3次宮崎市病院事業経営計画(平成28年度(2016年度)～令和2年度(2020年度))の進捗管理と検証 2 第4次宮崎市病院事業経営計画(対象期間:令和3年度(2021年度)～令和7年度(2025年度))の策定 3 第4次宮崎市病院事業経営計画の実行状況管理								
達成目標	中長期的な経営計画に基づいた事業経営								
効果	地域で必要とされる医療の安定的かつ継続的な提供								
指標		現状		中間年度		最終年度			
		目標値							
実施スケジュール		平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)			
1	第3次病院事業経営計画の進捗管理と検証	計画	→	→	→				
2	第4次病院事業経営計画の策定	計画		→					
3	第4次病院事業経営計画の実行状況管理	計画			→	→			
4		計画							
5		計画							
備考	*1 田野病院 (診療科目)内科・外科・整形外科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・放射線科。一般病床42床。 *2 さざんか苑 入所50床、通所20人。								

各年度取組実績					
令和 4年度 (2022)	中間取組状況	<p>令和4年(2022年)3月に総務省から「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」が示され、令和5年度(2023年度)までに「公立病院経営強化プラン」の策定が求められたことに伴い、「新公立病院改革プラン」として位置づけている第4次宮崎市病院事業経営計画の見直しが必要となる。</p> <p>このため、令和5年度(2023年度)の経営計画の改訂に向けた課題等の整理を行うとともに、働き方改革への対応準備として、医師の勤務状況等についてその実態を調査中。</p>			
	最終取組状況	<p>第4次宮崎市病院事業経営計画の見直しについては、一部改訂に向けての追加項目、変更箇所の整理を行った。</p> <p>医師の働き方改革改革に係る追加項目については、医師の勤務状況等の実態調査結果に基づき対応等を継続中。</p>			
	達成状況評価	○	評価理由及び次年度の取組予定	<p>公立病院経営強化ガイドラインによる第4次宮崎市病院事業経営計画の見直しは、令和5年度に実施するため。</p> <p>指定管理者を含めた第4次宮崎市病院事業経営計画検証会議において、進捗管理する。</p>	
	△:準備、検討 ○:一部実施 ◎:実施完了 -:中止				
	効果額(千円)	不用額		内容・算出内訳	
	必要額				
	効果額				
[効果額]=不要額(取組により不要となった(生み出された)額)-必要額(取組に要した額)					

項目名称	No. 19	健全で持続可能な上下水道事業の財政運営								
分類	大	1	健全な行財政運営の確保に向けた取組							
	中	1	効率的で効果的な行政運営							
	小	5	健全で持続可能な財政運営							
所管課	上下水道局 財務課									
現状と課題	<p>施設等の老朽化に伴う更新投資の増大、人口減少に伴う料金収入の減少等により、公営企業を取り巻く経営環境は厳しさを増しつつある。</p> <p>そこで、平成31年(2019年)2月に「経営戦略」を策定し、経営基盤の強化と財政マネジメントに取り組みとともに、令和2年(2020年)2月には上下水道事業の「基本理念」や「目指すべき将来像」を設定し、その「実施方策」を取りまとめた「みやざき水ビジョン2020」を策定した。</p> <p>今後は、施策評価調書による「みやざき水ビジョン2020」のローリングと「経営戦略」の投資・財政計画ローリングをルーチン化し、一体的に機能させていくことが重要である。</p>									
取組内容	<p>1 投資・財政計画の策定、効率化・経営健全化の取組方針の検討に基づく健全な財政運営に資する</p> <p>目標を設定した経営戦略の策定(平成30年度(2018年度)まで)</p> <p>2 策定した経営戦略のローリングの実施</p> <p>3 現在のマスタープランの検証によるローリングの実施</p> <p>4 平成31年度(2019年度)までに事業計画の目標などを設定した「みやざき水ビジョン2020」の策定</p> <p>5 「みやざき水ビジョン2020」の施策評価調書によるローリングの実施</p>									
達成目標	中長期的な経営の基本計画に基づいた財政運営・事業管理									
効果	事後検証や更新を検討するとともに、評価結果を予算編成に反映させるなどの健全な財政運営									
指標			現状		中間年度		最終年度			
			目標値							
実施スケジュール			平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)			
1 経営戦略策定	計画									
2 経営戦略ローリング	計画									
3 マスタープランローリング	計画									
4 「みやざき水ビジョン2020」策定	計画									
5 「みやざき水ビジョン2020」ローリング	計画									
備考										

各年度取組実績

令和 4年度 (2022)	中間取組状況	<p>「経営戦略」並びに令和2年度(2020年度)が計画初年度となる「みやざき水ビジョン2020」(以下「水ビジョン」という。)の2つの計画について、PDCAサイクルに基づく進捗管理を実施するため、令和3年度(2021年度)から施策評価調書を導入しており、7月の経営会議にて前年度実績の内部評価の確定を行った。今後は、上下水道事業経営審議会による外部評価を実施したあと、その結果について公表する予定としている。</p> <p>また、「経営戦略」については、投資・財政計画のローリングを実施し、経営目標や「水ビジョン」の成果指標の達成見込み度について7月に検証を行った。</p>		
	最終取組状況	<p>「経営戦略」並びに「水ビジョン」の2つの計画について、PDCAサイクルに基づく進捗管理を実施するため、内部評価後に、10月の上下水道事業経営審議会による外部評価を実施し、結果を令和4年(2022年)12月にHPで公表した。施策評価にて協議した内容は、令和5年度(2023年度)の当初予算に反映させた。</p> <p>また、「経営戦略」の投資・財政計画のローリングでは、令和4年度のローリング結果を10月の上下水道事業経営審議会に報告し、施策評価と同じタイミングで公表を行った。</p>		
	達成状況評価	◎	評価理由及び次年度の取組予定	「経営戦略」並びに「水ビジョン」に掲げた計画等について、PDCAサイクルに基づく進捗管理を実践することができた。引き続き「施策評価調書」の修正を図りながら、両計画の進捗管理を上下水道事業経営審議会での議論を通して実施するとともに、両計画の見直しについても着手する。
	△:準備、検討 ○:一部実施 ◎:実施完了 -:中止			
	効果額(千円)	不用額		内容・算出内訳
	必要額			
	効果額			
[効果額]=不要額(取組により不要となった(生み出された)額)－必要額(取組に要した額)				